

2023年度 第1四半期決算 カンファレンスコール

2023年8月4日

取締役CFO

半田 宗樹

01

2023年度 第1四半期決算概況

02

国内事業の取り組み、進捗状況

03

中国事業の取り組み、進捗状況

TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031実現へのロードマップ



1st stage
 FY2022 – 2024
 発芽 – Germination –

2nd stage
 FY2025 – 2027
 成長 – Growth –

3rd stage
 FY2028 – 2031
 開花 – Flowering –

医療用漢方事業

漢方治療の標準化
 漢方治療の個別化

10処方以上処方医師
 50%以上

診療領域基本処方すべて
 処方する医師50%

研究開発

漢方治療の個別化
 未病の科学化

研究 開発

社会実装

中国事業

製剤PF

中成薬事業

参入 基盤構築

ブランド確立

生薬PF

生薬・飲片・
 「薬食同源」製品

売上拡大 ブランド確立

業界の発展リード

研究PF

中薬研究センター

設立 機能拡充

中成薬エビデンス構築

スマートファクトリー

自動化範囲拡充

監視・管理へのシフト

スマートファクトリー実現

労働生産性

営業
 生産
 生薬

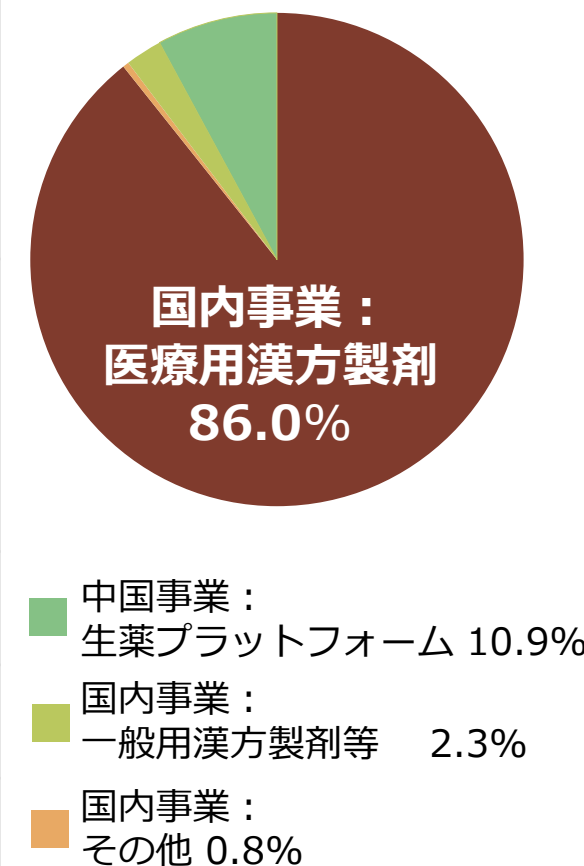
1MRあたり売上高 (円/MR)
 物的労働生産性 (箱/人)
 生薬手配量あたり人件費 (円/t)

生産性2倍
 (2021年度比)₃

2023年度 第1四半期 決算概況

【百万円】	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比		2023年度 上期計画	進捗率 (対上期計画)
			金額	増減率		
売上高	34,417	37,036	+2,618	+7.6%	74,000	50.0%
国内事業	31,562	32,988	+1,426	+4.5%	65,900	50.1%
中国事業	2,855	4,047	+1,191	+41.7%	8,100	50.0%
営業利益	6,353	4,684	△1,668	△26.3%	9,500	49.3%
国内事業	6,404	4,684	△1,719	△26.9%	9,900	47.3%
中国事業	△50	0	+51	—	△400	—
経常利益	8,665	5,989	△2,676	△30.9%	9,800	61.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,632	4,332	△2,300	△34.7%	6,800	63.7%
PL換算レート※ (円/元)	18.32	19.36	+1.04	—	—	—

売上高構成比率



※期中平均レートであり、原料生薬の輸入レートとは異なります

決算のポイント

- ・ 国内事業、中国事業の伸長により増収
- ・ 未実現利益の影響、生薬調達コストの上昇、円安等の影響により減益

売上高	37,036	百万円	前年同期比	+7.6%	進捗率 (対上期計画)	50.0%
------------	---------------	------------	-------	--------------	----------------	--------------

- 国内事業 医療用漢方製剤（129処方） : 31,838百万円 前年同期比 5.2%伸長
- 一般用漢方製剤等 : 837百万円 前年同期比 7.2%減少
- 中国事業 原料生薬、飲片、「薬食同源」製品等 : 4,047百万円 前年同期比 41.7%伸長

営業利益	4,684	百万円	前年同期比	△26.3%	進捗率 (対上期計画)	49.3%
-------------	--------------	------------	-------	---------------	----------------	--------------

営業利益率	12.6	%	前年同期比	△5.9pt
--------------	-------------	----------	-------	---------------

- 原価率 : 54.9% 前年同期比 +7.1pt : 前年同期は上海ロックダウンにより未実現利益が減少、今期は在庫増により未実現利益が増加
加えて、生薬調達コスト、円安の影響等
- 販管費率 : 32.4% 前年同期比 △1.3pt : 漢方バリューチェーンのDX化等の成長投資を売上高増で吸収

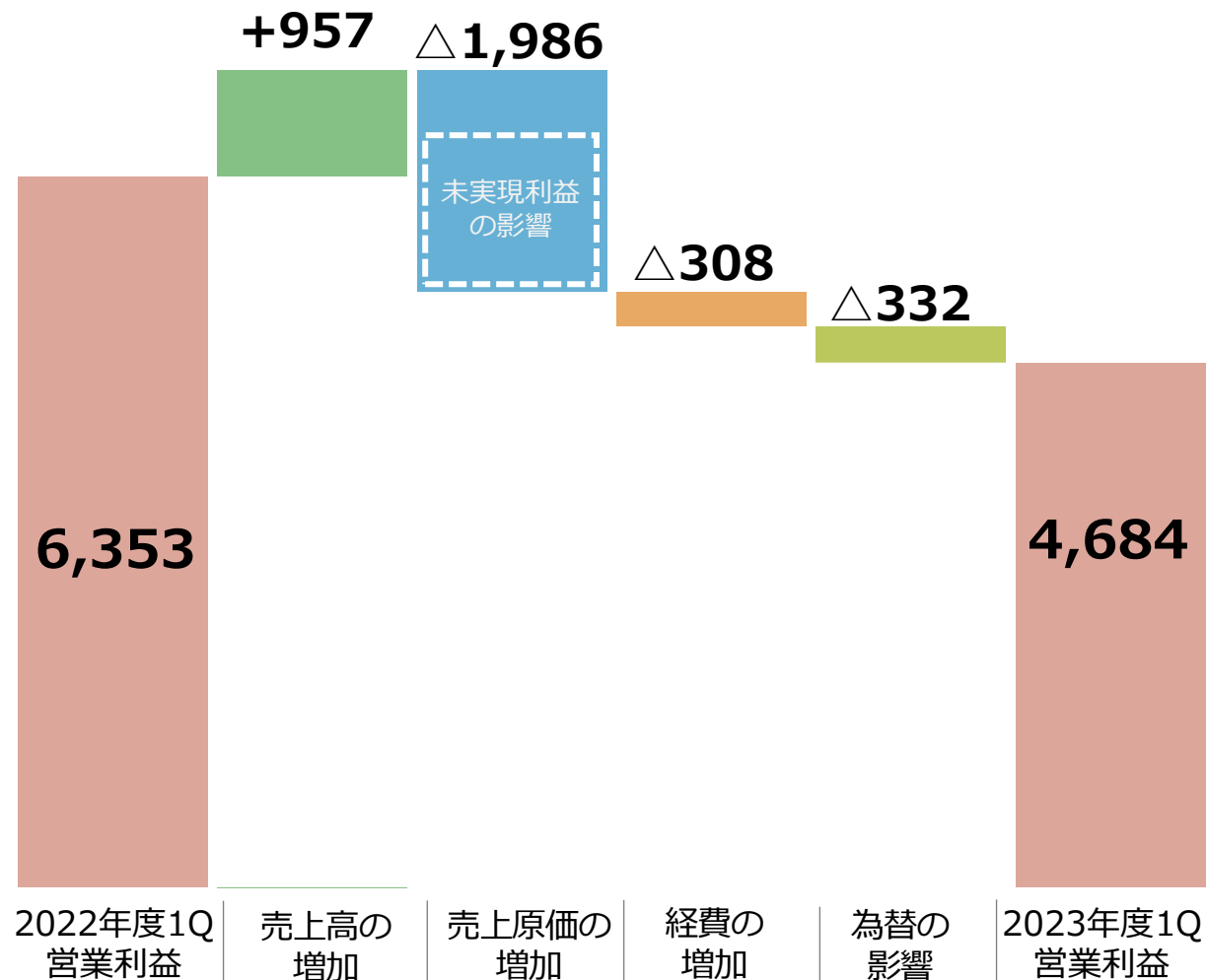
経常利益	5,989	百万円	前年同期比	△30.9%	進捗率 (対上期計画)	61.1%
-------------	--------------	------------	-------	---------------	----------------	--------------

- 海外子会社への貸付金等に係る為替差益 : 929百万円 前年同期比 △1,070百万円 ※為替差益は計画では未計上

親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,332	百万円	前年同期比	△34.7%	進捗率 (対上期計画)	63.7%
-----------------------------	--------------	------------	-------	---------------	----------------	--------------

営業利益の増減要因（前年同期比）

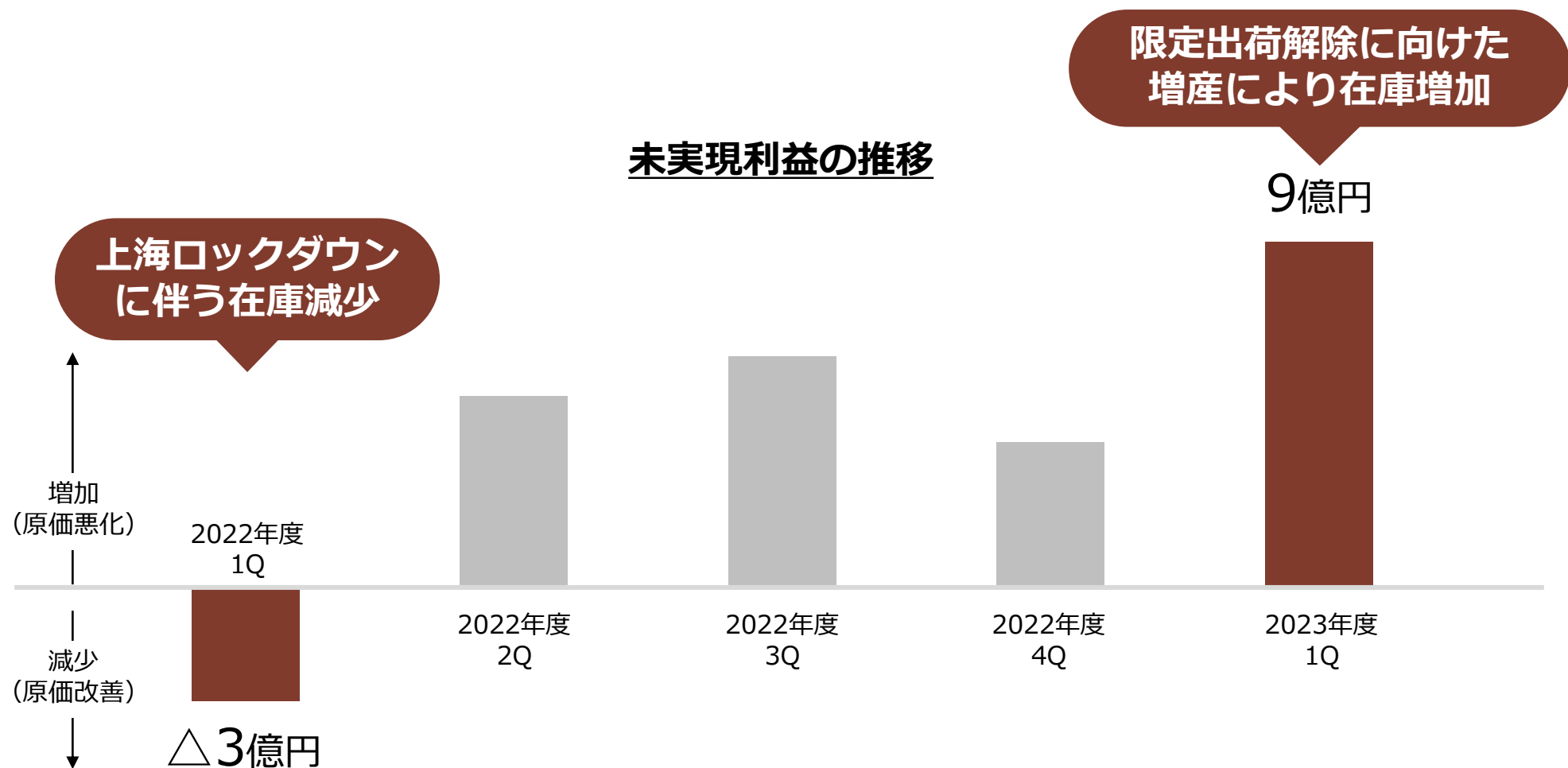
(百万円)



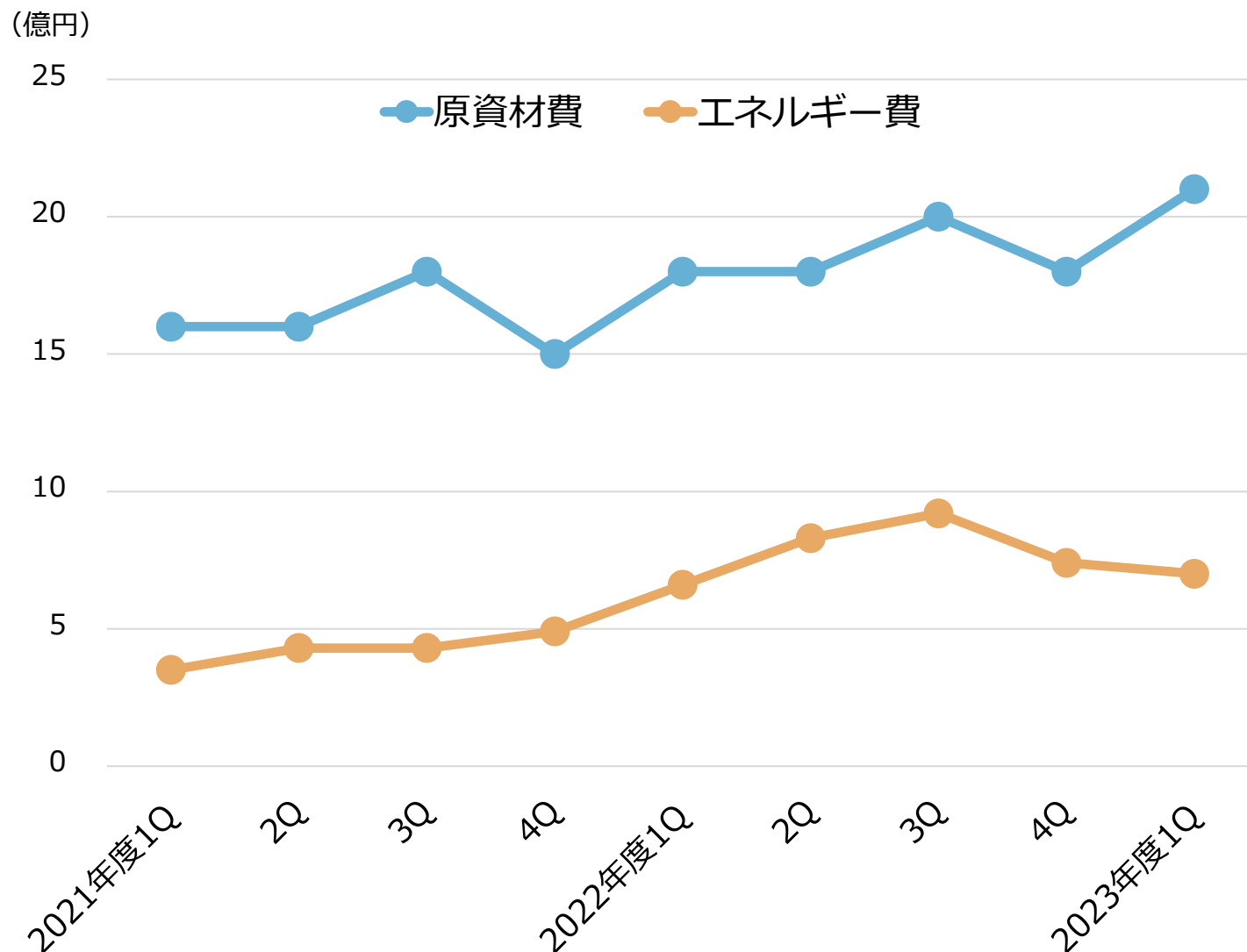
(百万円)

売上高の増加 +957百万円	
国内事業	+789
中国事業	+168
売上原価の増加 △1,986百万円	
国内事業：販売単価（うち薬価改定+395）	+554
国内事業：生薬調達コスト（うち未実現利益影響△1,278）	△1,709
国内事業：原資材費	△262
国内事業：加工費等（うちエネルギー費△297、天津工場の一時費用△277）	△474
中国事業：生薬PFの販売増加	△95
経費の増加 △308百万円	
研究開発費	△71
給与諸手当	△71
販売促進費	+14
減価償却費（うち天津工場の一時費用の減少+251）	+246
その他（うちシステム導入費用等△185、活動経費△127）	△426
為替（円安）の影響 △332百万円	

限定出荷解除に向けた対応等により、未実現利益が一時的に増加、2Q以降で減少に向かう



原資材費、エネルギー費の推移



原資材費

- ・インフレ、円安の影響により2022年度から上昇
- ・2023年度2Q以降については、横ばいとなる見通し

エネルギー費

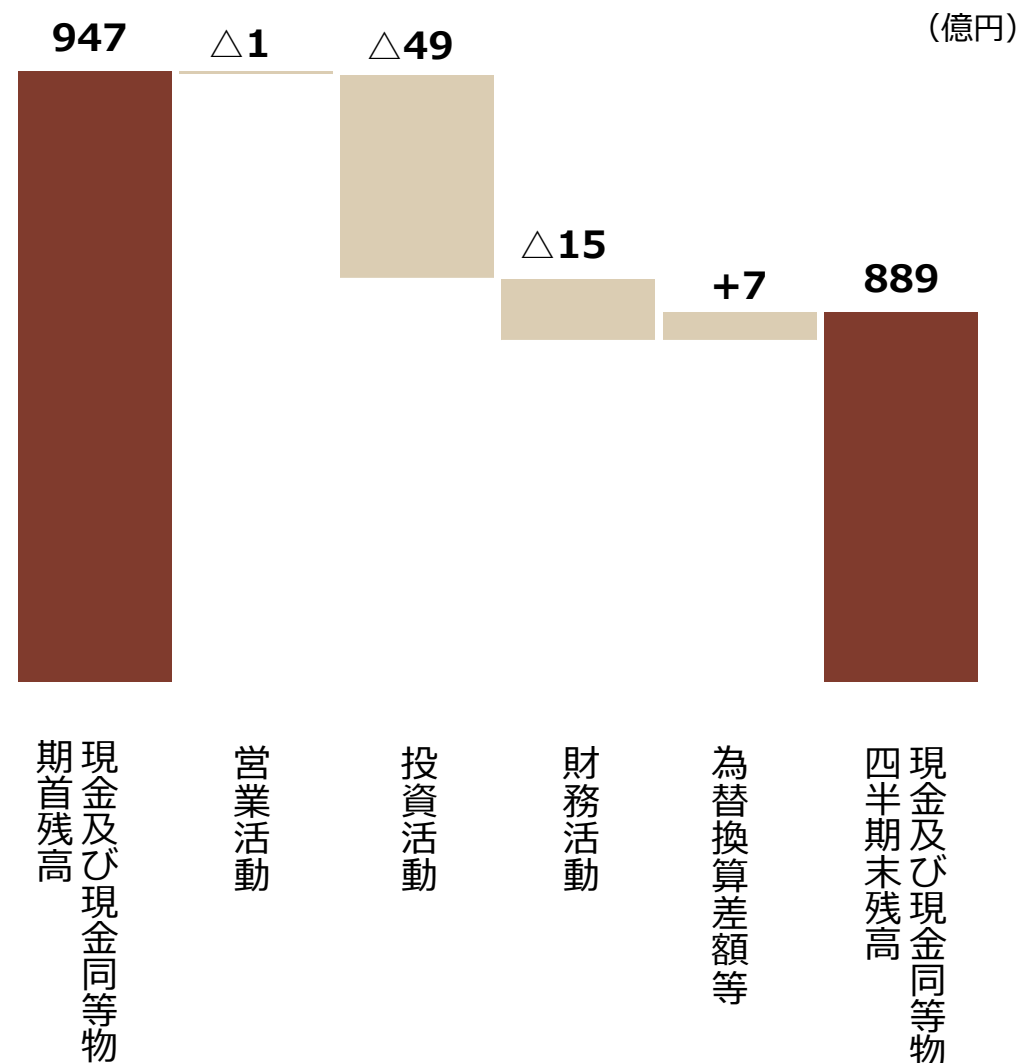
- ・2022年度から急激に上昇し、2022年度3Qがピーク
- ・2023年度2Q以降については、2023年度1Qと同水準になる

財政状態 および キャッシュ・フロー

(百万円)

	2022年度 (2023.3)	2023年度 1Q	増減額
資産合計	396,813	405,437	8,623
流動資産	268,320	272,369	4,048
固定資産	128,492	133,067	4,574
負債合計	124,566	126,345	1,779
流動負債	47,205	49,402	2,197
固定負債	77,361	76,943	△418
純資産合計	272,246	279,091	6,844
自己資本比率	63.5%	63.2%	△0.3pt

	2022年度 (2023.3)	2023年度 1Q	増減額	内、為替
棚卸資産計	101,726	107,501	5,774	1,306
商品及び製品	11,257	12,659	1,402	83
仕掛品	14,430	17,064	2,633	66
原材料及び貯蔵品	76,038	77,777	1,738	1,156



01

2023年度 第1四半期決算概況

02

国内事業の取り組み、進捗状況

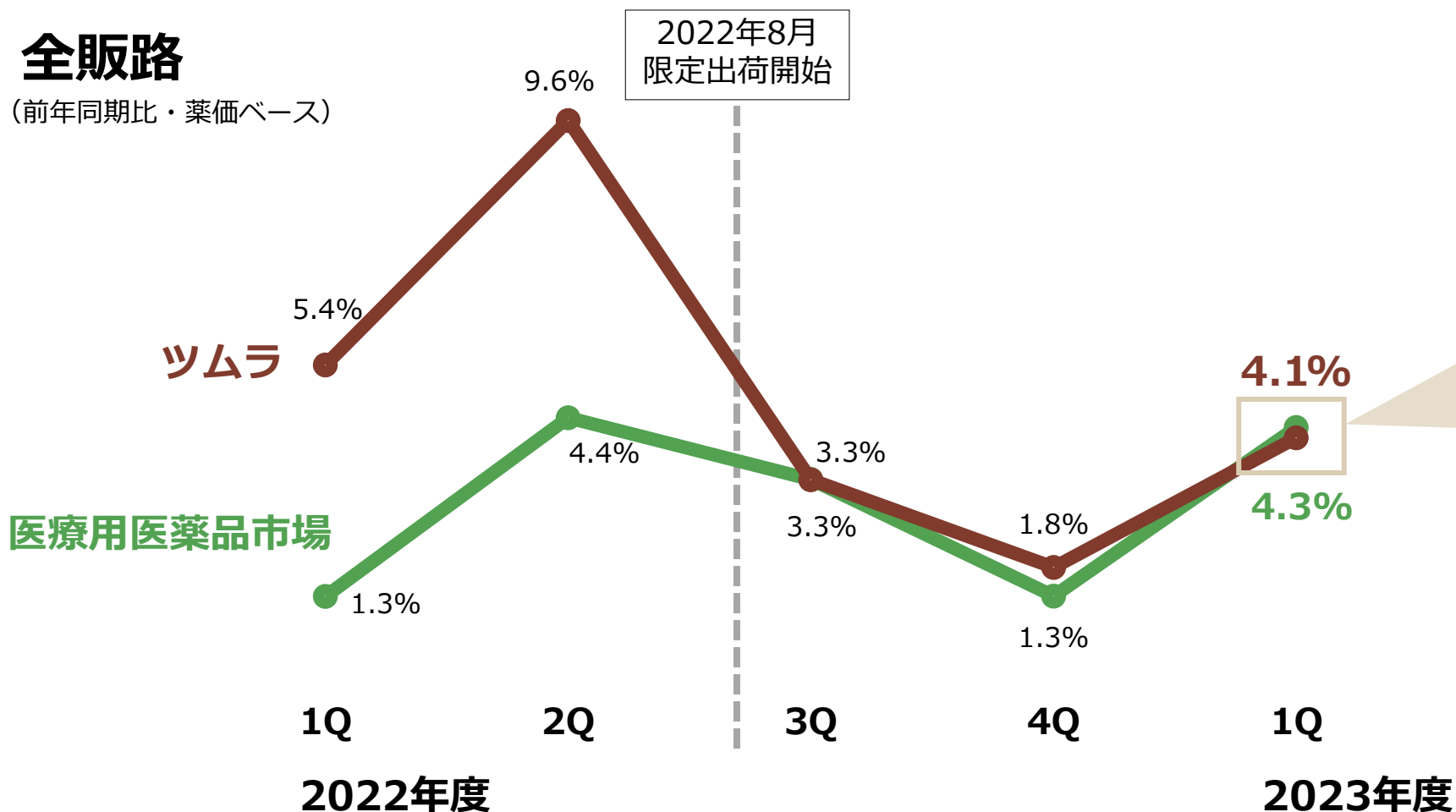
03

中国事業の取り組み、進捗状況

6月の限定出荷品目（23品目）の解除により伸長率は回復

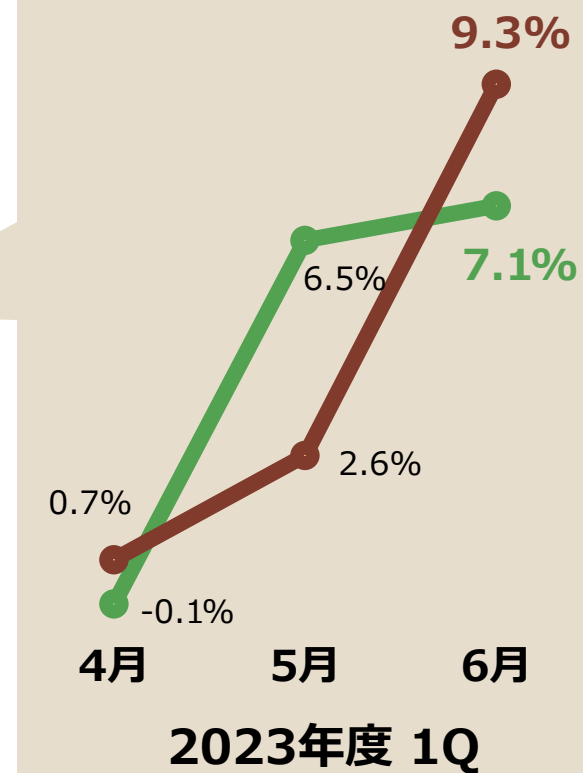
全販路

(前年同期比・薬価ベース)



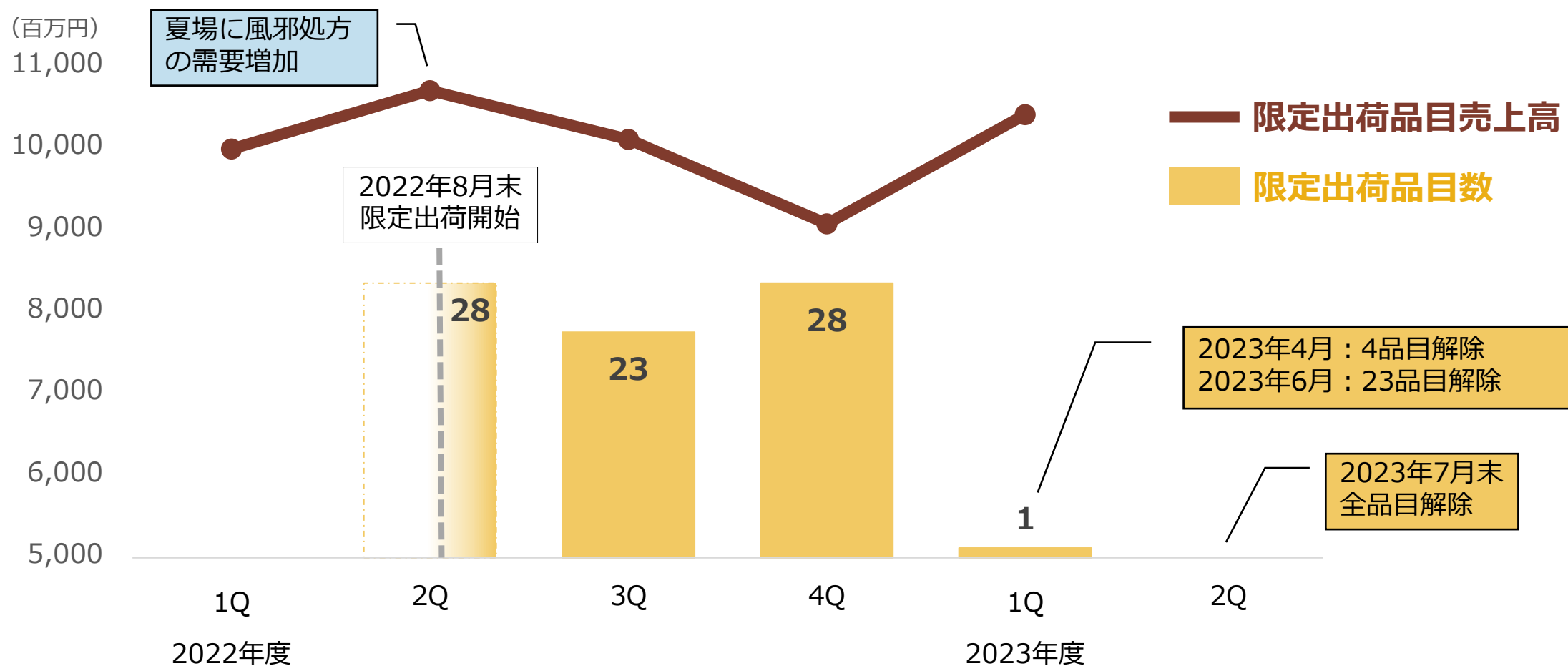
限定出荷解除の状況

6/5 : 22品目 解除
6/30 : 1品目 解除



限定出荷品目の売上高推移

- ・ 2022年8月末以降の限定出荷開始により、冬場に風邪処方の売上が低下
- ・ 限定出荷解除により、6月から限定出荷品目の売上高が回復

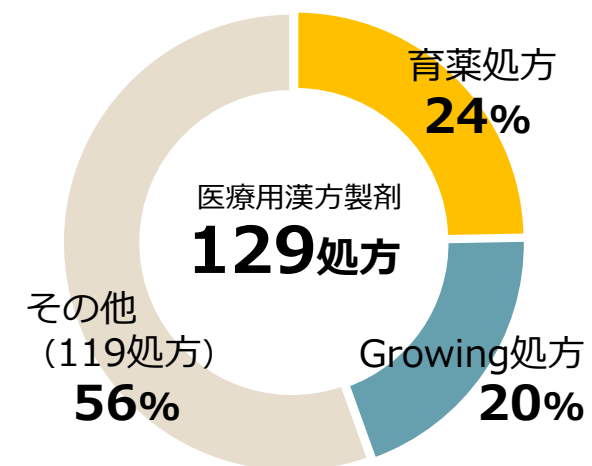


育薬処方・Growing処方 売上高

(百万円)

	売上 順位	製品No. / 処方名	2022年度1Q	2023年度1Q	前年同期比	
育薬 処方	1	100 大建中湯	2,505	2,515	+9	+0.4%
	2	54 抑肝散	1,933	1,940	+6	+0.4%
	4	43 六君子湯	1,860	1,861	+1	+0.1%
	9	107 牛車腎気丸	932	995	+62	+6.7%
	23	14 半夏瀉心湯	359	370	+11	+3.2%
育薬処方合計			7,591	7,683	+92	+1.2%
Growing 処方	3	41 補中益気湯	1,881	1,931	+49	+2.6%
	5	17 五苓散	1,542	1,801	+259	+16.8%
	6	24 加味逍遙散	1,296	1,305	+9	+0.7%
	17	137 加味帰脾湯	501	590	+88	+17.7%
	18	108 人参養栄湯	507	561	+54	+10.6%
Growing処方合計			5,730	6,191	+461	+8.0%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			16,956	17,964	+1,007	+5.9%
医療用漢方製剤129処方合計			30,277	31,838	+1,560	+5.2%

売上高構成比率

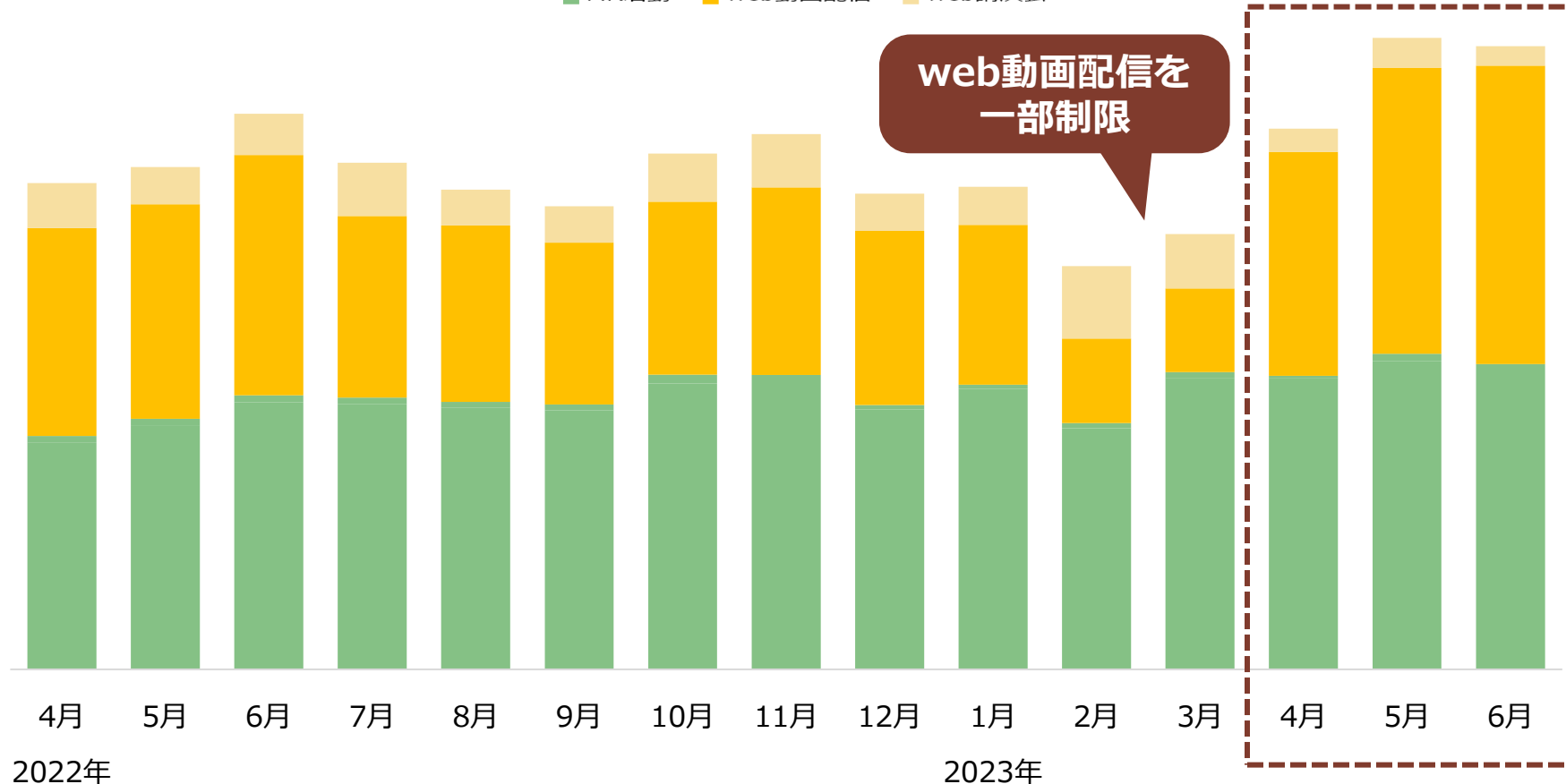


※牛車腎気丸は2023年4月2日まで限定出荷

限定出荷後、web動画配信などを一部制限、限定出荷解除後は活動を再開

ディテールインパクト件数の推移

MR活動 web動画配信 web講演会



e-プロモーション

限定出荷の解除により、
情報提供活動を従前の状態
に戻している

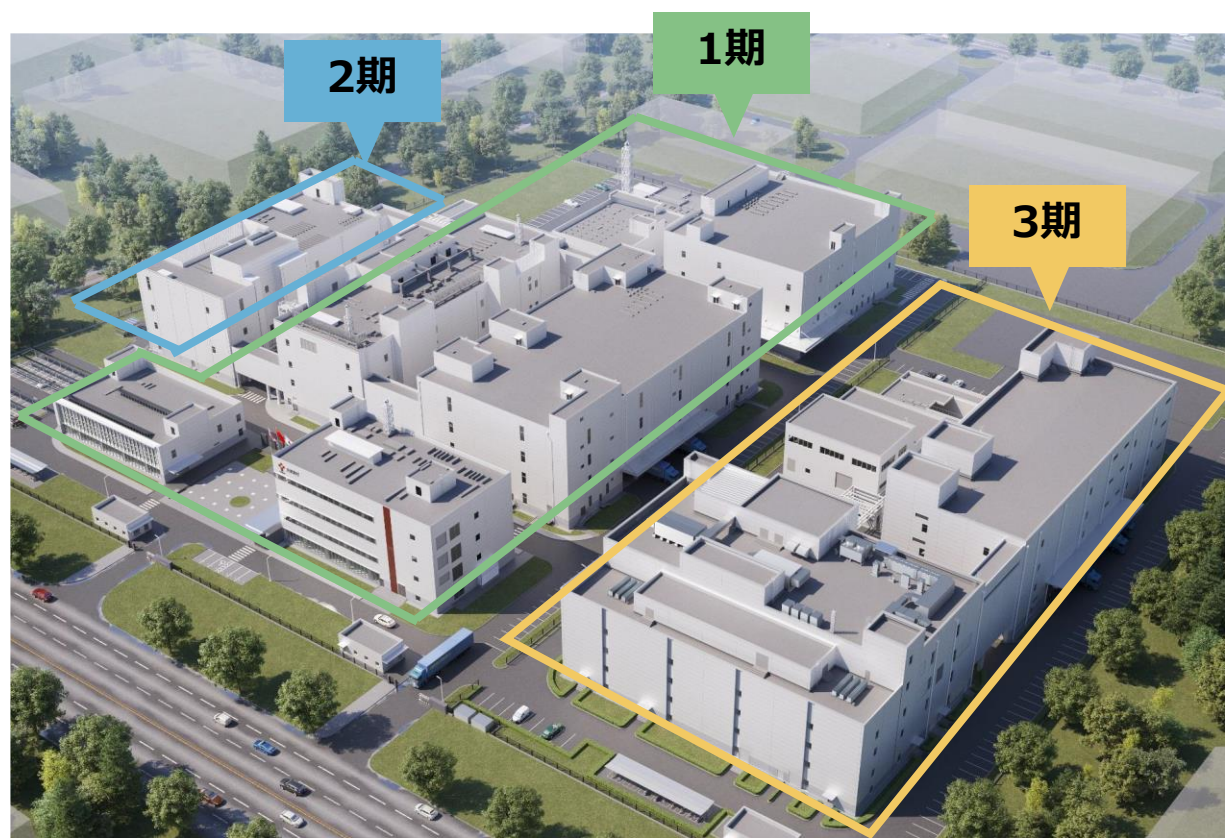
MR活動

新型コロナウイルス感染症が
5類へ移行したことにより、
MR活動は回復傾向

*ディテールインパクト件数：MR活動やインターネットなど各チャネルからの情報認知件数
*e-プロモーション：WEB講演会や動画配信などによる情報提供
*MR活動：MRを介した情報提供+リアル講演会

- ・ 1期は、出荷開始時期の前倒しにむけ手続き中
- ・ 2期、3期の建設は、計画通りに進捗

1～3期までがフル稼働により、
漢方エキス粉末（中間製品）の
生産能力は約35%アップ



天津工場の敷地面積 約60,000m²

1期工事

- ・ 漢方エキス粉末生産設備、倉庫、ユーティリティ等
- ・ 投資額：約150億円
- ・ 2023年度内に出荷開始予定

2期工事

- ・ 漢方エキス粉末生産設備
- ・ 投資額：約85億円
- ・ 竣工：2024年1月予定

3期工事

- ・ 漢方エキス粉末生産設備、品質管理機能等
- ・ 投資額：約140億円
- ・ 竣工：2025年3月予定

01

2023年度 第1四半期決算概況

02

国内事業の取り組み、進捗状況

03

中国事業の取り組み、進捗状況

品質を起点とした営業活動により、主力の原料生薬を中心に販売が伸長

原料生薬



原料として、
中成薬メーカー等へ販売

飲片（刻み生薬）

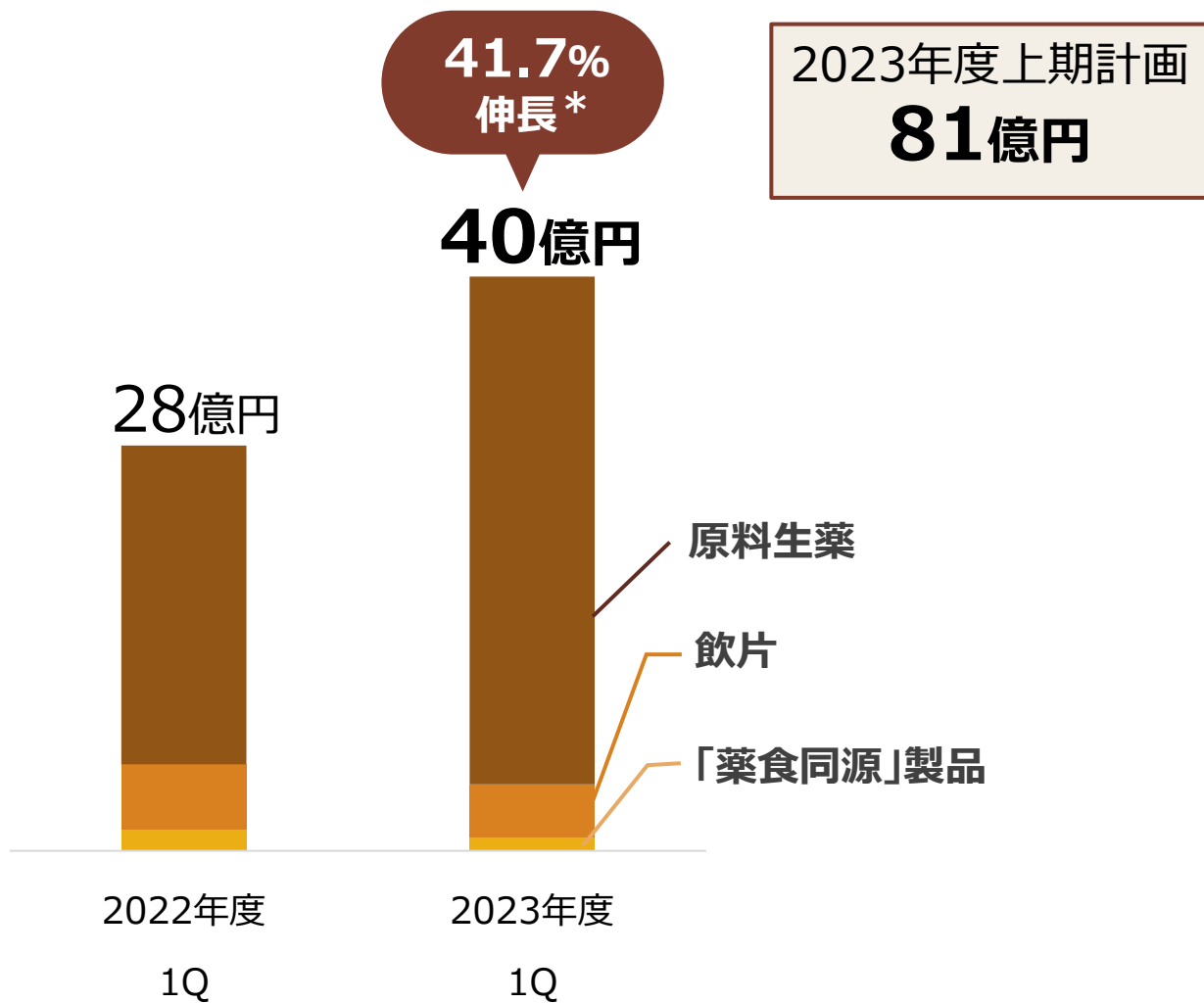


病院や薬局へ医療用や
OTCとして販売

「薬食同源」製品



生薬を活用した健康食品を
一般消費者に販売



* 現地通貨ベース：34.1%伸長

平安津村有限公司による陝西紫光辰濟薬業有限公司の 持分譲渡に関する契約締結のお知らせ

経緯

- 4月13日に持分譲渡契約を締結（紫光辰濟の持分を100%取得）
- 本プロジェクトのすべての手続き完了（2023年5月9日）後、陝西省宝鷄市政府（以下「同市政府」）より、同市政府担当部門による国家政策・関連法規等に対する解釈の相違があったことが判明した旨の連絡を受ける。
- その後、同市政府担当部門との協議を重ねたが、本プロジェクトを継続実施する条件が満たされないとの判断に至った。
- 同市政府の意見を理解・尊重し、紫光辰濟の持分譲渡した。

持分譲渡の相手先 : 深圳市華融泰資産管理有限公司、宝鷄市投資（集団）有限公司

売却株式数 : 100%の持分

売却価額 : 254,788千人民元

契約締結日 : 2023年7月27日

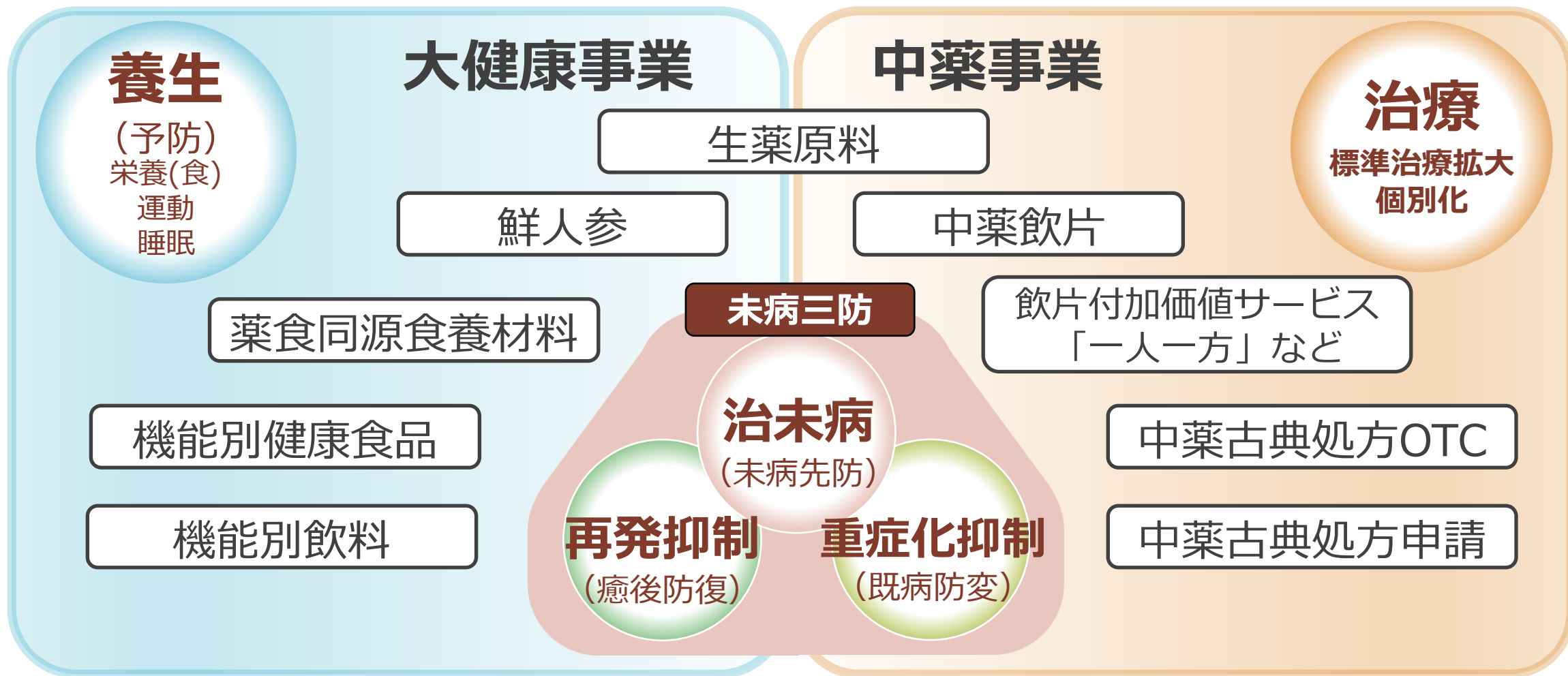
業績に与える影響 : 2024年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微



中国国民の健康に貢献する



原料生薬の安定調達・供給



コーポレート・コミュニケーション室

I R 推進グループ

investor_madoguchi@mail.tsumura.co.jp

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。したがって、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制の変更や、金利・為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少したりした場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。

Appendix

- ・ 医療用漢方製剤の「価値」の継続的な訴求や業界団体と連携し関係省庁への提言
- ・ 近年は引き下げ率が縮小し、2023年4月はプラス改定

